

SDGs活動 名称	松野地区 SDGs 推進プロジェクト ~住民主体で作る持続可能な地域社会~
概要	本事業は、松野地区における少子高齢化や公共交通の撤退等による地域課題を、地域住民主体の活動を通じて解決し、持続可能な地域社会を実現することを目的とします。SDGsの理念に基づき、交通、交流、教育、文化の各分野で地域の力を結集し、誰一人取り残さない地域社会の実現を目指します。

SDGsとの関係

経済側面	働きがいも 経済成長も	産業と技術革新の 基盤をつくろう	人や国の 不平等をなくそう	つくる責任 つかう責任
				
社会側面	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に 健康と福祉を	質の高い教育を みんなに
				
環境側面	ジェンダー平等を 実現しよう	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	住み続けられる まちづくりを	平和と公正を 全ての人に
				
環境側面	安全な水とトイレを 世界中に	気候変動に 具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさも 守ろう
				

産業、社会、環境の三側面との関係

産業	<p>地域経済の循環と自立を促す仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> おぐるまふれあい食堂での食材調達や運営は、地元農家や企業、住民の協力で成り立っており、小規模経済圏の形成に寄与しています。 夏祭り開催や伝統漁法体験では、地域企業・商店がブース出店や物品協賛を通じて関わり、地元経済の活性化と交流人口の拡大（観光的側面）を図っています。 地域資源を活かした持続可能なソーシャルビジネスモデルの形成が期待されます。
社会	<p>つながりと安心を取り戻す地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏祭りの共同開催や体験学習による地域の一体感は、住民の誇りや愛着を育てるとともに、若年層の地域離れ防止、地域活動への参加促進につながります。 地域住民主体の運営体制が、「支援される側」から「支える側」への意識変化を促し、地域力の向上と協働型社会の基盤形成に寄与します。 高齢者の移動支援により交通弱者を生み出さないことから、地域内の自立生活が維持され、孤立や引きこもりの防止につながります。 ふれあい食堂は、子ども、高齢者、ひとり親家庭などの多様な住民が交流し、支え合う関係性を育み、多世代共生社会を具体的に推進する拠点となります。
環境	<p>自然資源と共生する持続可能な暮らしの学び</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士川の伝統漁法体験では、自然環境と人の暮らしの関わりを体験的に学び、地域の水資源や生態系を守る意識を育てます。 鮎の放流や河川の保全活動なども含めて、流域環境の保全と教育的活用を両立させています。 地元産の食材利用、再利用可能な備品活用、ゴミの分別など、食堂や祭りの運営においても環境配慮型の行動が実践されています。 地域資源（森林・川・農地など）を活用しながら守るという「地域循環共生圏」の考え方方に近い取り組みです。

事業計画

SDGs活動 現状	松野地区では高齢化と公共交通の縮小が進み、地域内の交流や移動手段の確保が課題となっています。地域住民の主体性も希薄です。本プロジェクトは、松野地区区長会、松野学園PTA等と共同事業として推進し、関係行政機関等と協議の上、展開している。
プロジェクト 普及計画	持続可能な松野地区の実現に向け、高齢者や子育て世代が安心して暮らせる地域を目指し、松野地区まちづくり協議会活動を展開するため、現在、取組を開始している「子育て世帯の主体的参加の拡大」「ふれあい食堂」「地域交通支援」「伝統漁法体験」の4事業を定着させます。地域住民が主体となって運営し、協力団体や学校、企業とも連携しながら事業を発展させ、将来的には近隣地域への展開や観光資源としての活用も視野に入れます。
プロジェクト 目標	地域住民が主体となって課題に取り組む仕組みを構築し、多世代の交流と支え合いが自然に生まれる持続可能な地域社会を実現する。誰もが安心して暮らせる「顔の見える関係」を地域全体で築くことを目指します。 令和7年度は、「子育て世帯の主体的参加の拡大」「伝統漁法体験」の2事業として、他事業は令和8年度に実施する。
プロジェクト 想定効果	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や交通弱者の移動・生活の不安が解消され、自立した生活が可能になる ・子どもや高齢者が孤立せず、自然な見守り・助け合いが生まれる ・地域文化や自然資源への理解が深まり、次世代に継承される ・地域内のつながりが強まり、住民の愛着と誇りが育まれる ・自治体任せではなく、地域主体の持続可能な運営体制が確立される

F U J I 3 S プロジェクトエッグ 普及計画書 事業計画

年度	年月	実施事項
令和7年度	2025年7月	おぐるま夏祭り実行委員会第5回
令和7年度	2025年7月	おぐるま夏祭り実行委員会第6回
令和7年度	2025年7月26日	第2回おぐるま夏祭り開催
令和7年度	2025年11月	伝統漁法体験を開催
令和8年度	2026年8月	ふれあい食堂必要機材の整備
令和8年度	2026年12月	松野高齢者の移送事業「松野そよ風」専用車両の配備

歳入予算

(1) 事業収入、その他収入

説明	金額	令和7年度	令和8年度	第2目標	第3目標
「松野そよ風」専用車両地域負担金	1,000,000		○		○
ふれあい食堂必要機材地域負担金	500,000		○	○	
	1,500,000				

歳出予算(補助対象経費)

説明	金額	令和7年度	令和8年度	第2目標	第3目標
消耗品費(イベント用資材) 完了					
備品購入費(イベント用機材) 完了					
車両購入費(「松野そよ風」専用車両)	2,800,000		○		○
備品購入費(ふれあい食堂必要機材)	1,500,000		○	○	
伝統漁法体験必要資材(漁業用具、PC)	140,000	○			
	4,440,000				

歳出予算(補助対象外経費)

説明	金額	令和7年度	令和8年度	第2目標	第3目標
	0				

収支

(1) 第1目標

	総額	令和7年度	令和8年度
歳入	0	0	0
歳出	140,000	140,000	0
合計	-140,000	-140,000	0

(2) 第2目標

	総額	令和7年度	令和8年度
歳入	500,000	0	500,000
歳出	1,500,000	0	1,500,000
合計	-1,000,000	0	-1,000,000

(3) 第3目標

	総額	令和7年度	令和8年度
歳入	1,000,000	0	1,000,000
歳出	2,800,000	0	2,800,000
合計	-1,800,000	0	-1,800,000

補助金

(1) 第1目標

	令和7年度	令和8年度
S D G s プロジェクトエッグ応援補助金	140,000	0
補助額合計	140,000	
目標応援ポイント	140	

(2) 第2目標

	令和7年度	令和8年度
S D G s プロジェクトエッグ応援補助金	0	1,000,000
補助額合計	1,000,000	
目標応援ポイント	1,000	

(3) 第3目標

	令和7年度	令和8年度
S D G s プロジェクトエッグ応援補助金	0	1,800,000
補助額合計	1,800,000	
目標応援ポイント	1,800	